

聖女の烙印

Annunciation of Despair

1

フル
カラー

Full color
special ver.

成年
コミック



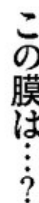
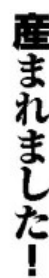
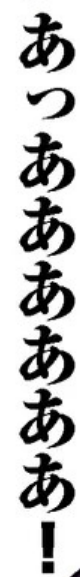
Presented by

山田ゴゴゴ

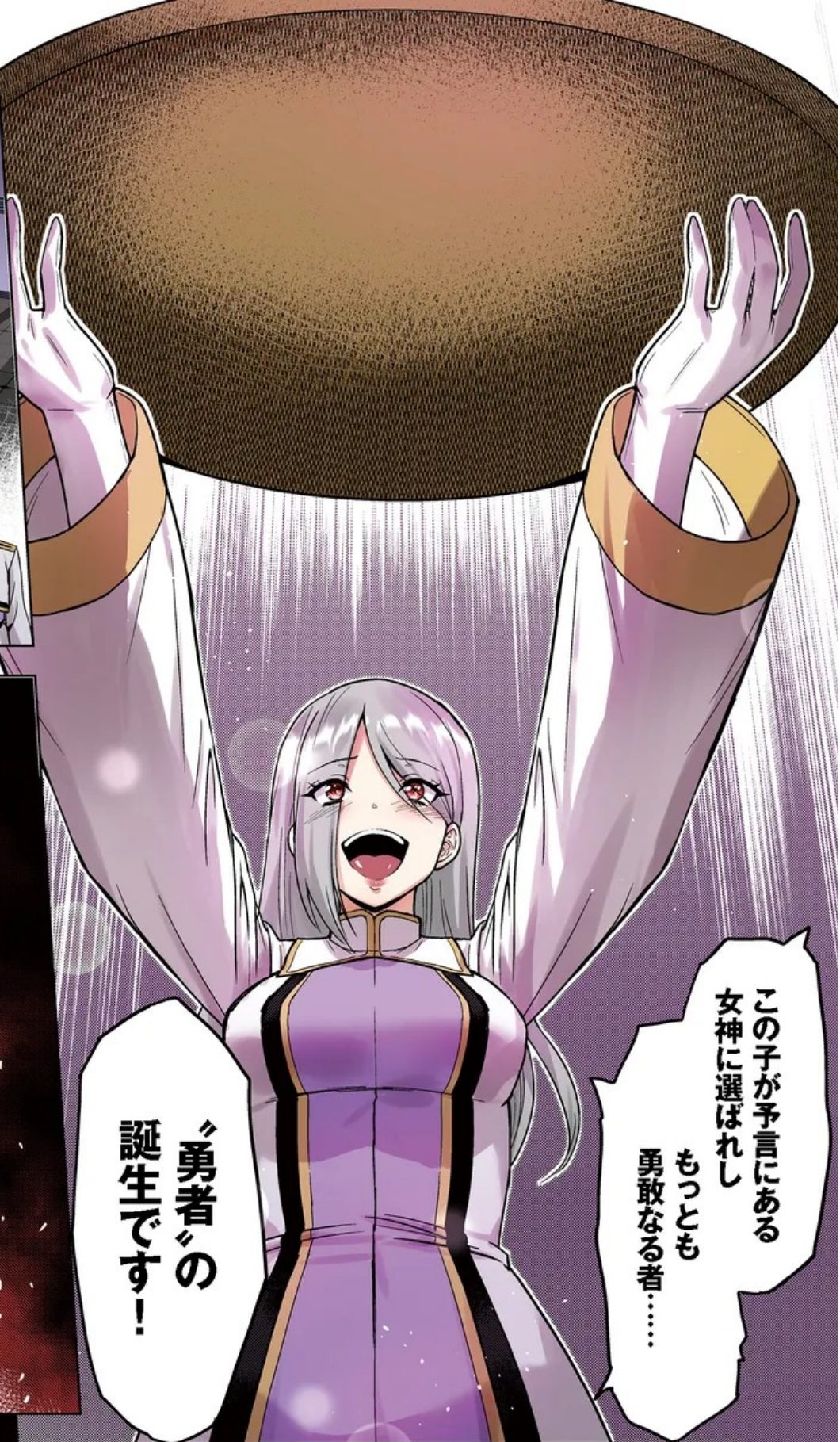
Yamada Gogogo

聖女の烙印

1



聖膜…
聖膜です…！
間違
ありません！



「勇者」の
誕生です！

この子が予言にある
女神に選ばれし
もつとも
勇敢なる者……



勇者様誕生の報が
世界に発せられて
7年が経った――



それっ



くらあー！

マリィカ
姉ちゃん
白パンツー

きつと今頃すくすくと
育っていることだろう

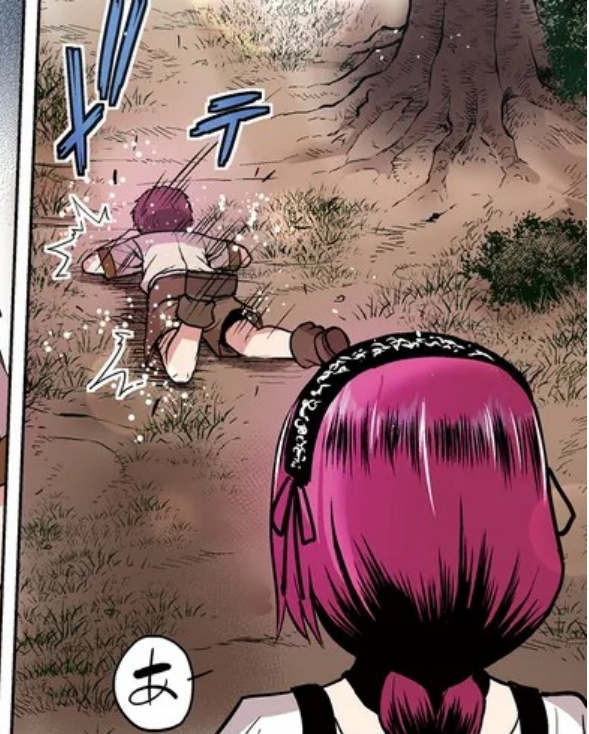
――世界は今
「魔族」と人との
戦争が続いている



ほら
見せてみなさい



いふふ…!



あ



『予言』によると
封印された魔王が
もつすぐ復活する



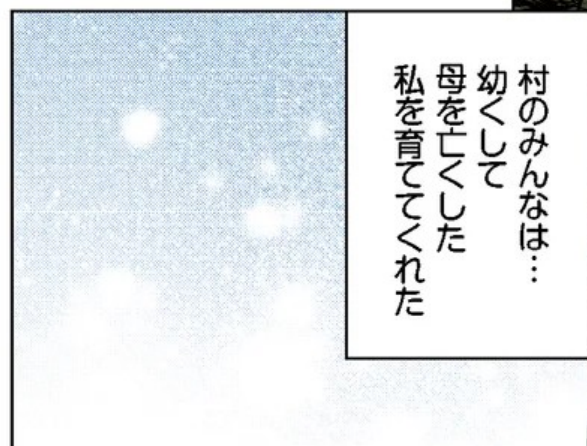
でも私にできる
こととはいえは
治癒魔法くらい…

うん…
ありがとう
マリーカ姉ちゃん

もう立てる?

もし何かあれば
この村も魔族に
蹂躪されるのだろうか?

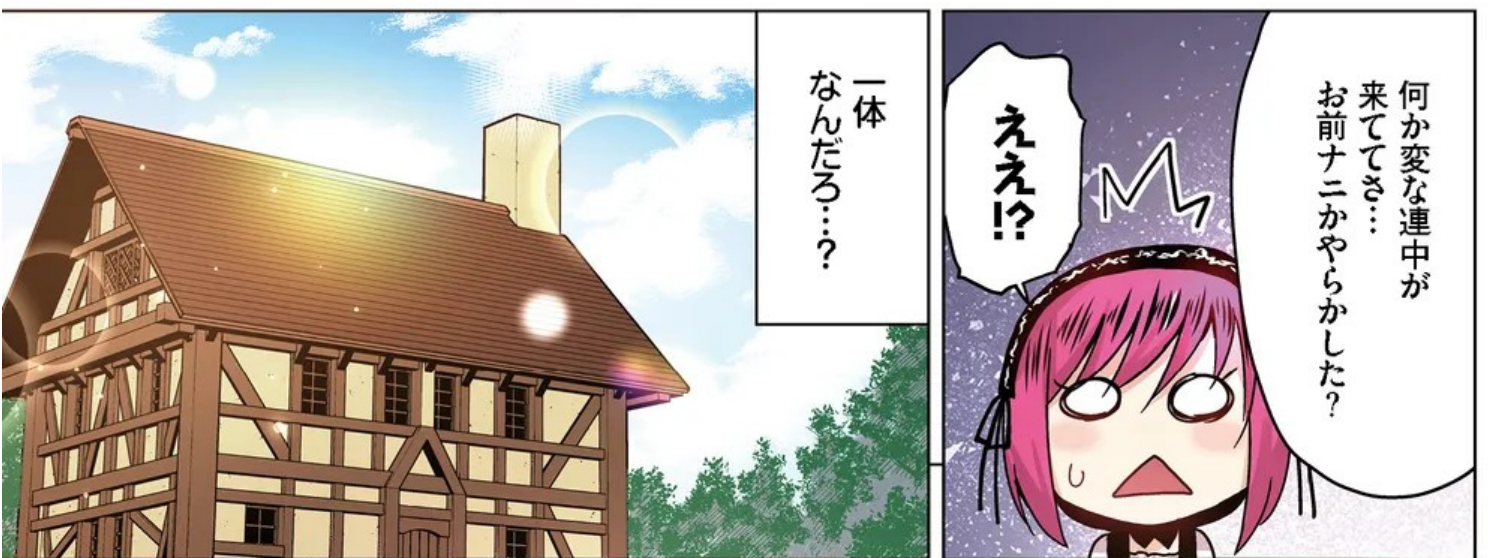
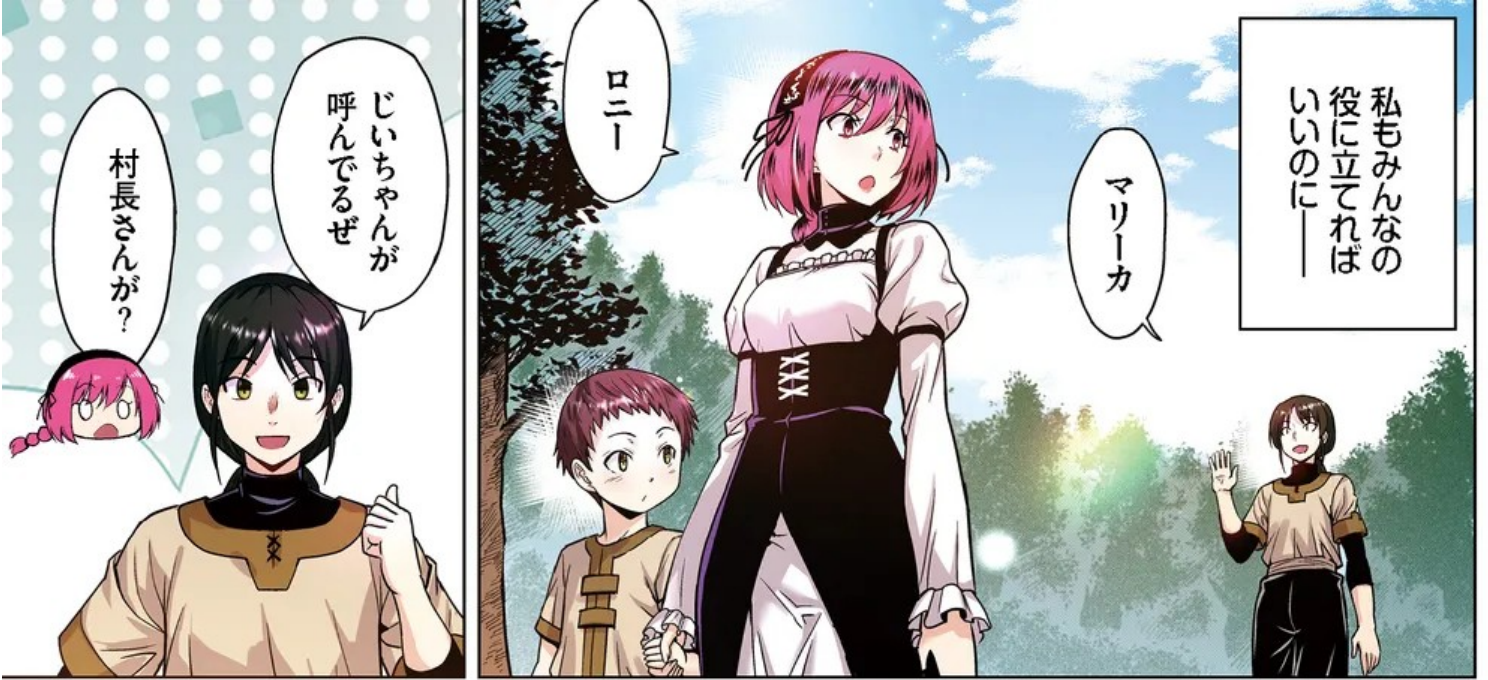
たくさんの人達が
命を懸けて
戦ってくれているから
私達は平穩に暮らせている



村のみんなは…
幼くして
母を亡くした
私を育ててくれた



この村は平和だけど
このすつとすつと
先の国境で――



私が…聖女に

聖女とは

幼い勇者様を
守護する存在であり

強い魔力を持った
『未通の女性』だけが
選ばれるお役目である

とても過酷で
1年程度で入れ替わり
毎年国中から
数十名が集められる…

10年前
予言にある勇者が
産まれていないか
調査した際――

マリカさんが
すばらしい
魔力の持ち主だと
分かっております

お母様はかつて
有名な魔法使い
だったそうで…

血は争えませんが

大変名誉なことだ
お母さんも喜ぶぞ

よかったな
マリカ！

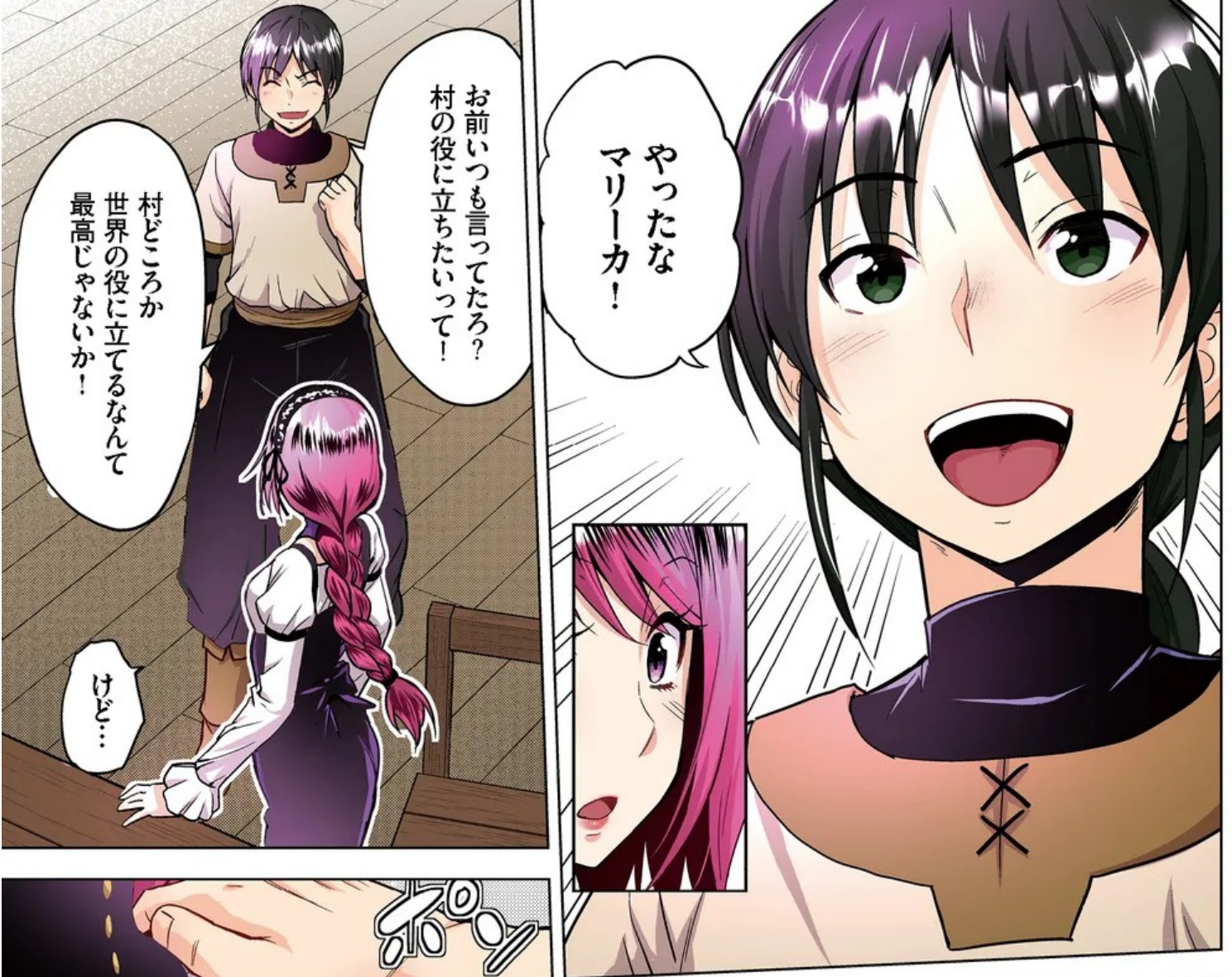
ええ…
ええ…

…私でも
みんなの役に
立てるかも
しれない…！

けど…

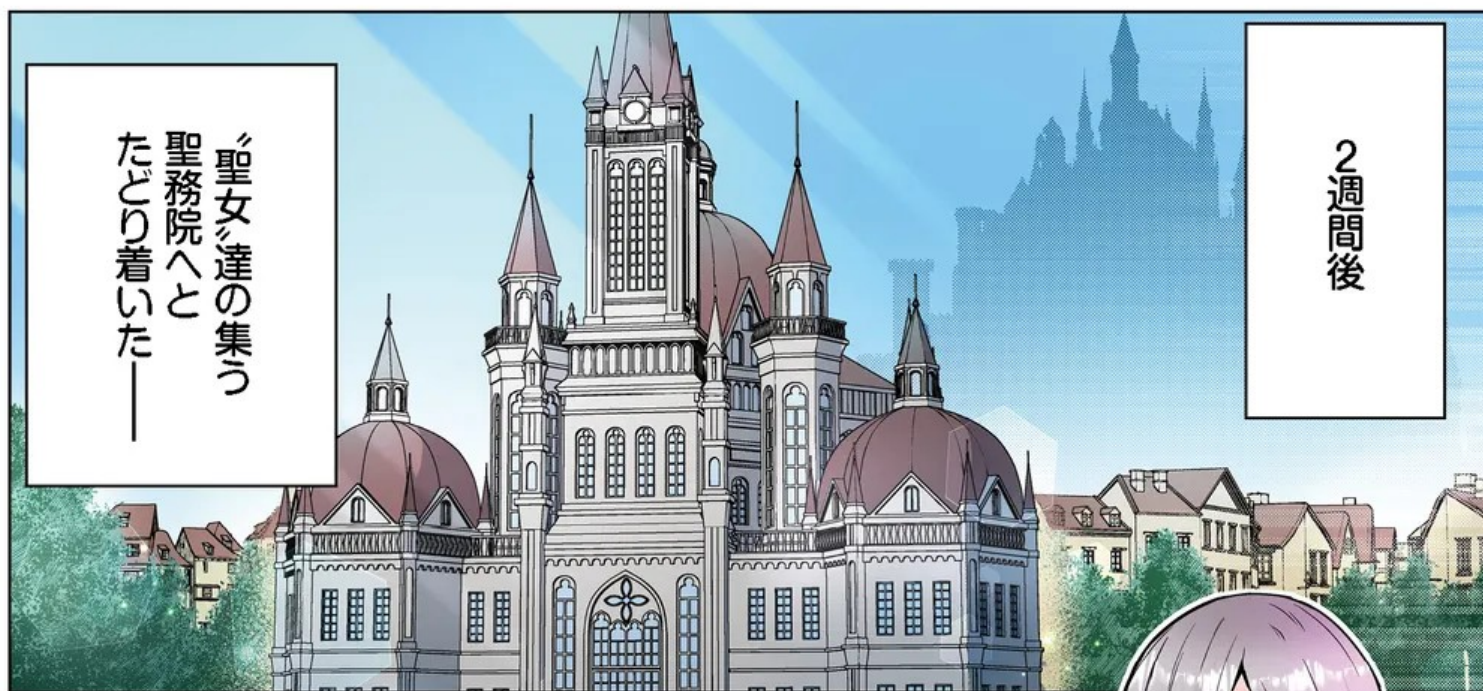
そうしたら
ローと
離れ離れに…

キラ



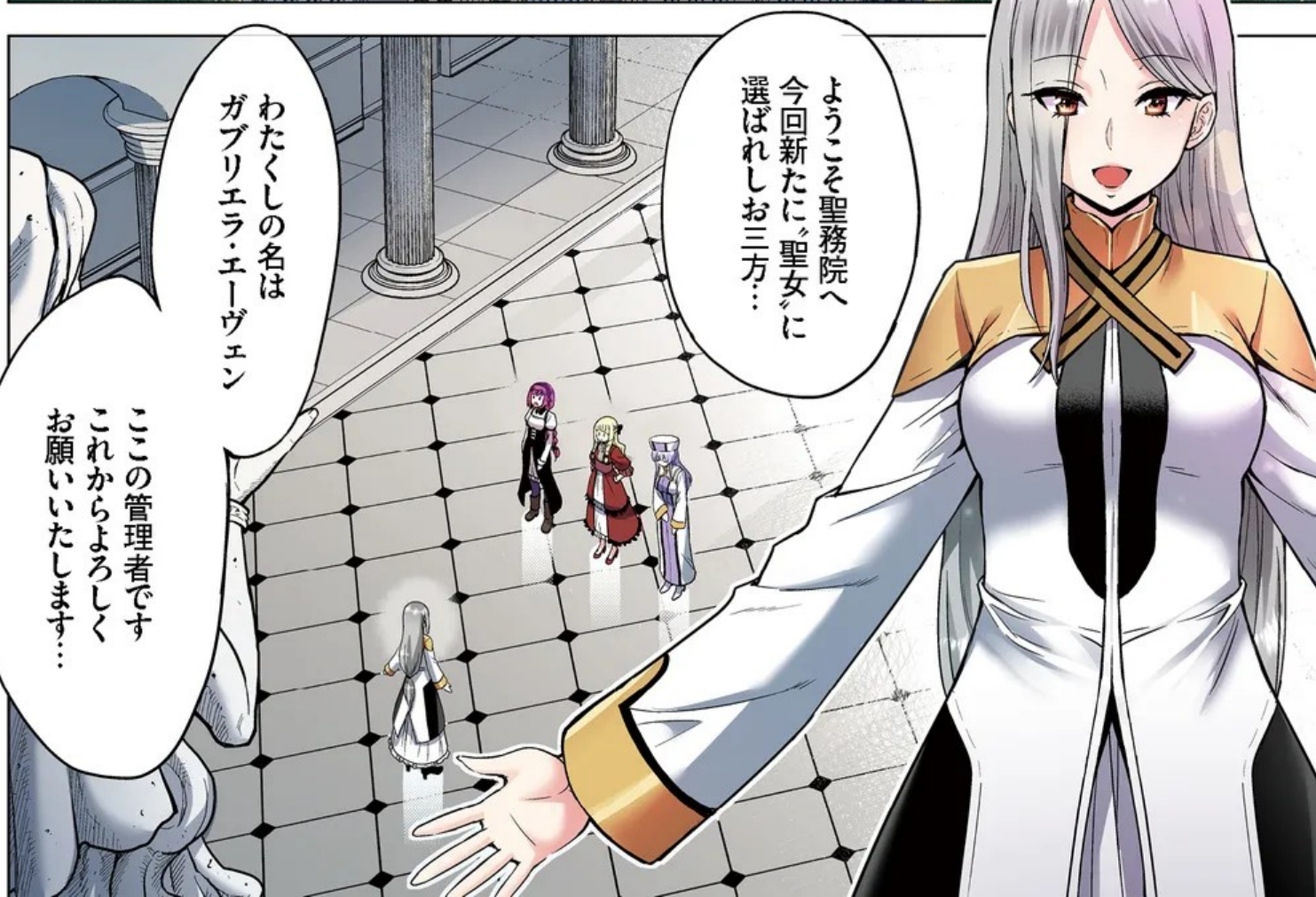


私は生まれ
親しんだ
村を離れ…



2週間後

聖女達の集う
聖務院へと
たどり着いた—



ようこそ聖務院へ
今回新たに聖女に
選ばれしお三方…

わたくしの名は
ガブリエラ・エーヴェン

この管理者です
これからよろしく
お願いいたします…

お三方は
同室となりますので
仲よくするように

はい

ええ

私以外の
聖女…

すごい
きれいな人達…

私と全然違う…

…私なんか
頑張れるのかな…

長旅で
お疲れでしょうが
早速「聖務」を
始めますので…

まずは
身体を清めて
いただきます

どうぞ
こちらへ

ハアアア

はぁ…♡

疲れが癒される
みたい…♡

聖なる力で
清められた
泉の水ですので
実際
癒しの力があるのですよ

↑

お詳しいん
ですね

やっぱり神官様
なんですか？

あ
そう言えば
名前も
まだでした

わたくしは
オリヴィエと申します

教会で神官をしております
よろしくお願いいたします

マリーカです

ただの
村人です

あなたは？

…私は
リリアルイーサよ

まったく…

何で貴族の私が
こんな庶民と一緒に
されなきゃ
ならないんですの！

庶民ごときが私と
話ができるだけでも
光栄に思いなさい！

ええっ貴族！
…様ですか！？

神官に貴族…

なんか…
すごい人ばかりで
萎縮しちゃうな

アッ

…ッ



いや、
オリヴィエさんには
負けですけど



萎縮どころか
えらく主張して
くるわね……
ただの村娘のくせに
生意気な胸ね……



お恥かしい
限りです……

こんな無駄にお肉が
ついてしまって……



あなた達とは
仲よくできそうに
ないわね！

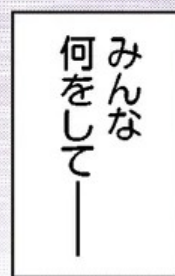
ええ!?

そんなこと言わず
仲よくしましょう!!

そうですよ!







ガブリエラ様！
これはどういう
ことなのでしょう！

私達は
聖女として…

聖務を果たすため
呼ばれたのでは
ないの…

あいつ

おらっ！
喚いてないで
しゃぶれや！

んんん
うぶうっ！！

カッポ

ええ
ですから

これがその
聖務です

んんん

カッポ

カッポ

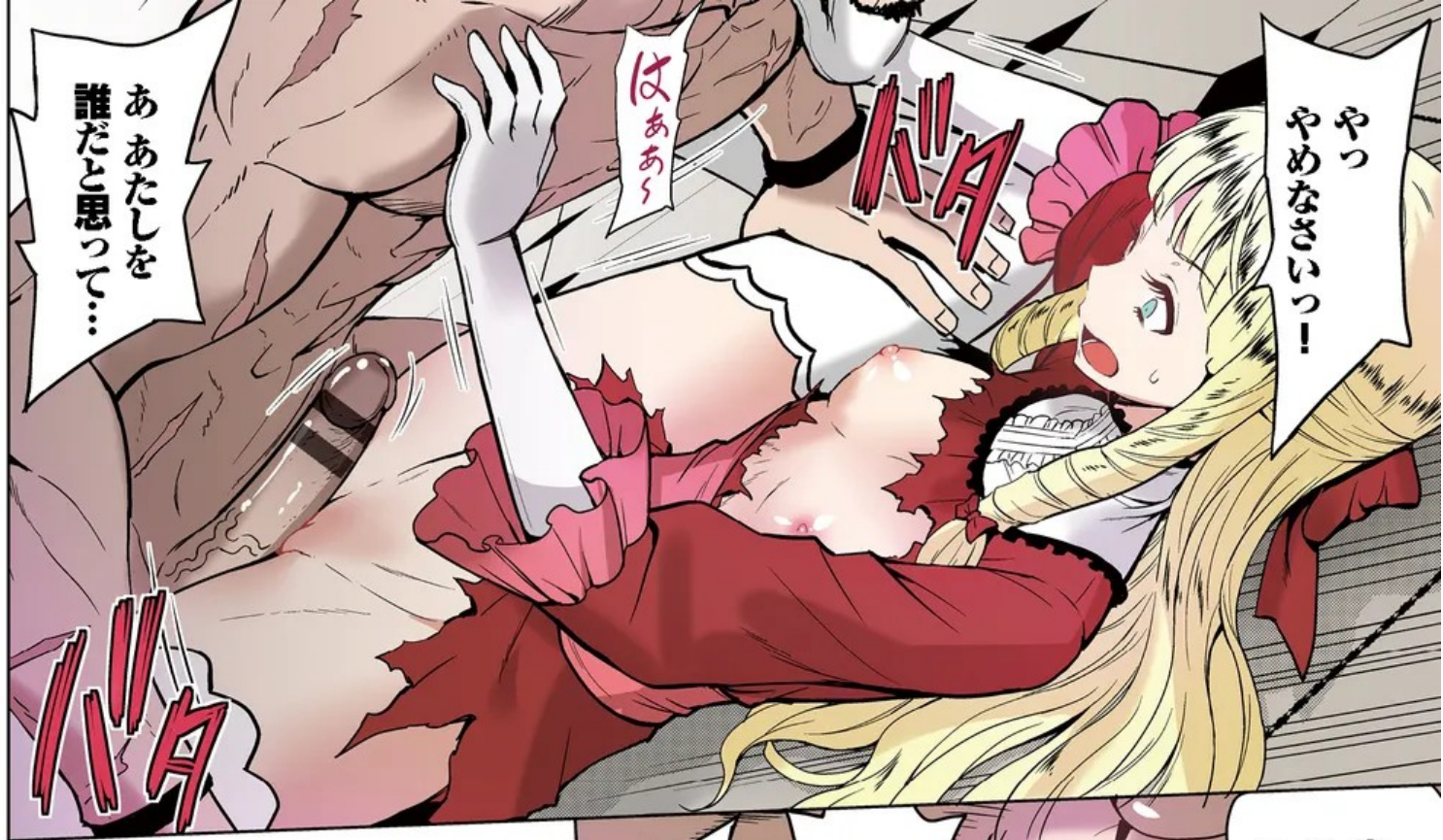
おほっ
尻もたまらねえ！

ビリ

ポン

んーっ！

んーっ！



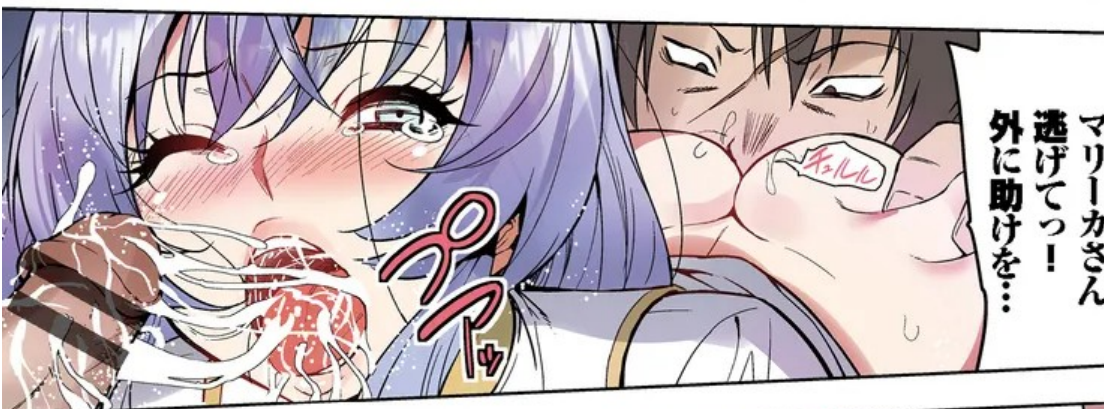
ひぎいいいい

オリヴィエさん……！
リリアさん……！

さあお嬢ちゃんも
一緒に遊ぼうか♪



マリーカさん
逃げてっ！
外に助けを…

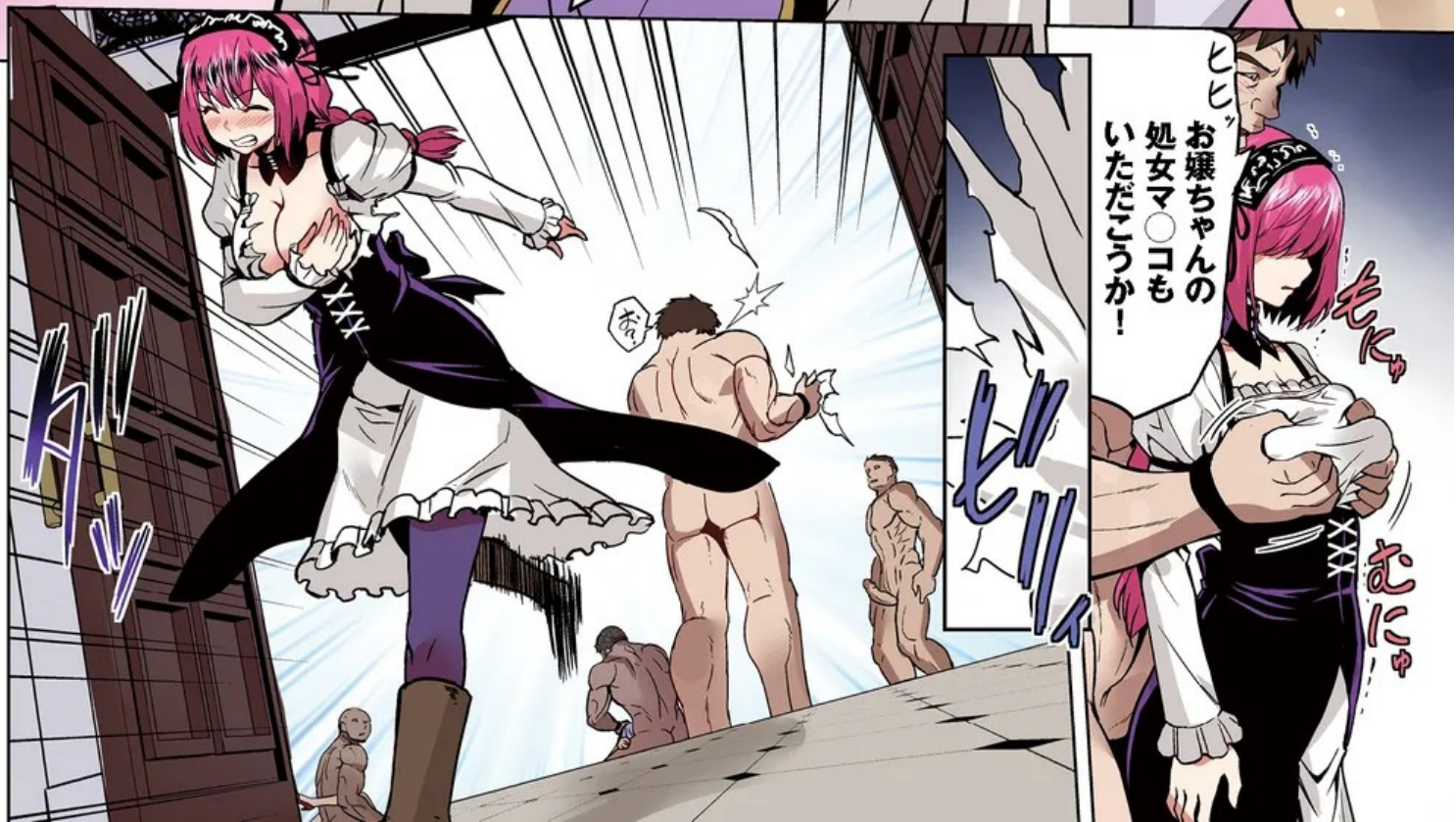


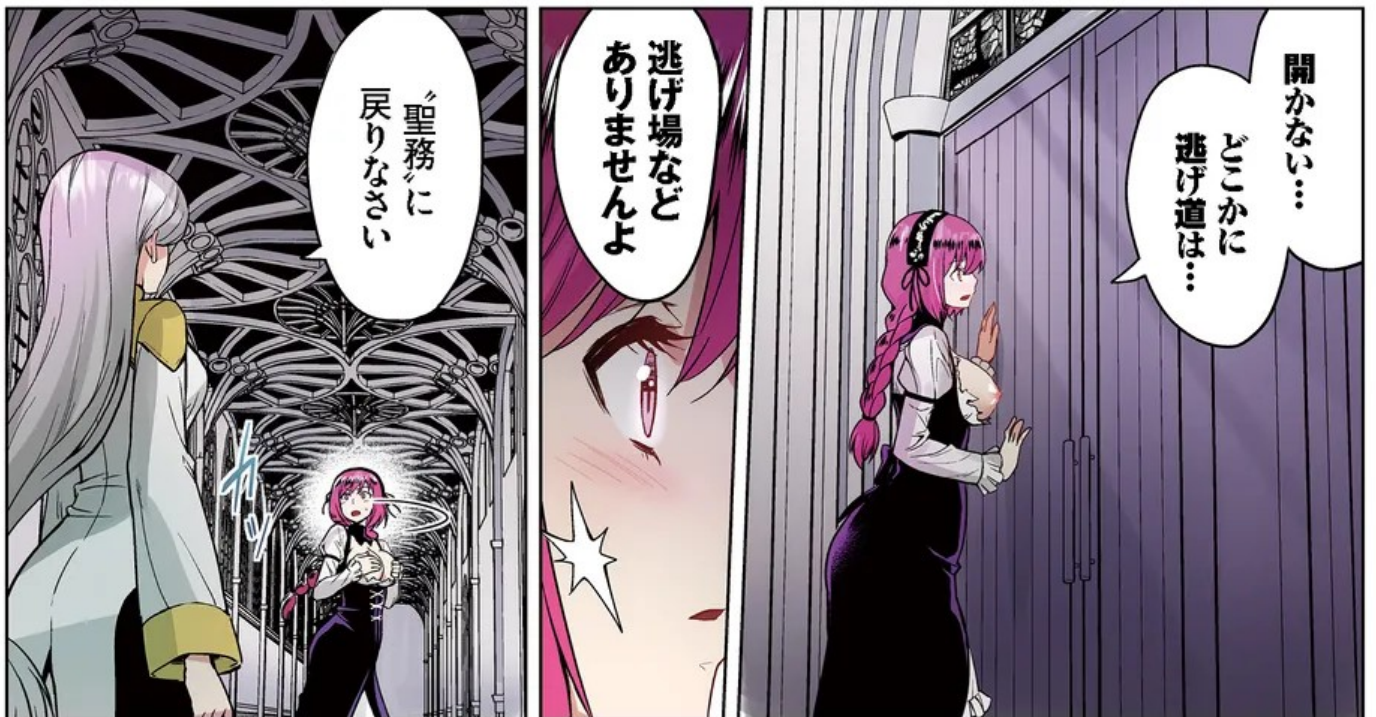
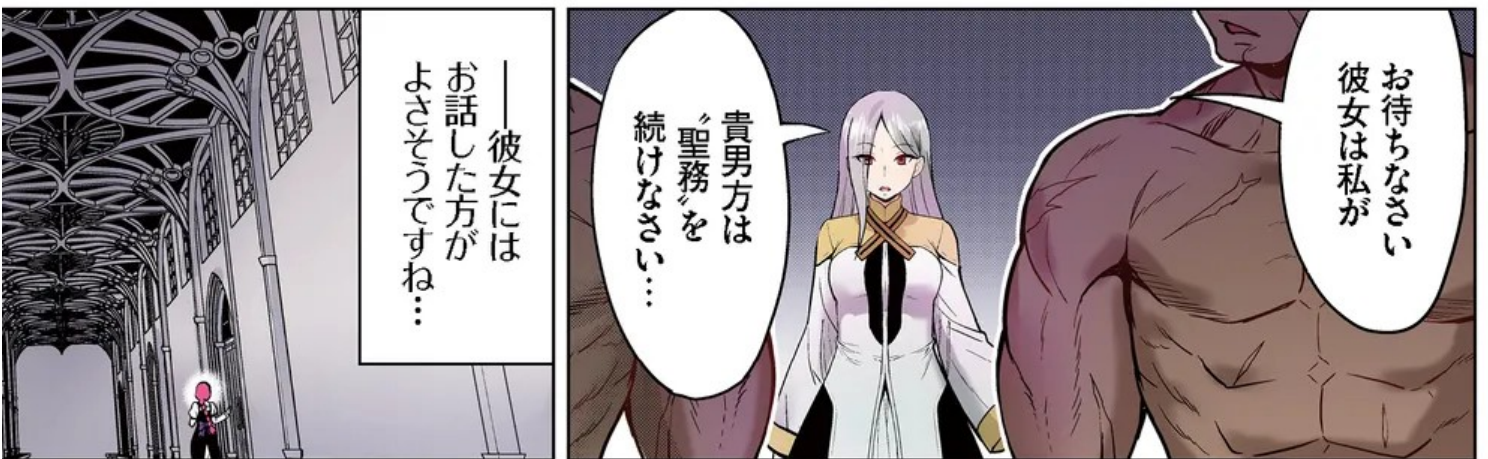
おぶおつ！！



へへ神官様の
処女マ○コだ！
こんな機会
二度とねえぞ！！







これが
聖女の仕事です

勇者を新たに
産むことが…

!?

勇者を
産む…?

だって
勇者様は
7年前に…!

……ええ
産まれました

しかし
殺されたのです

人に化けていた
魔族によって

勇者といえど
赤子ではどうにも
なりません…

再び勇者が
産まれてくるとは
限りません…

魔王の復活も近い…
我々は検討を重ね
そしてたどり着いた結論は

我々の手で
新たに勇者を
産み出すこと…

しかし
勇者創造は
神の御業…

私は禁忌を犯し…
己を犠牲にして
研究を続けました

この様に…

……すべては
人類の存続のため

だからって
あんな……!

あんなこと……!

実験の結果
母体の強い感情が
胎児の魔力に多く
影響することが
分かりました……

そして皮肉なことに
『負の感情』こそが
もつとも多くの魔力を
発生させたのです……

つまり……
望まぬ性行為こそ
もつとも胎児に
高純度の魔力を
与えられるのです

誰とも知らない人の
子供を宿せつて言うの!

そんなのっ……

いいえ

『勇者』の条件……
それは『処女受胎』

『性行為で
妊娠しては
なりません……

ゆえに……

貴女方は
妊娠しています

帝都までの道中…
勇者様の亡骸を
利用した禁呪で……

そんな……

嘘……でしょ!?

聖務は始まって
いたのです

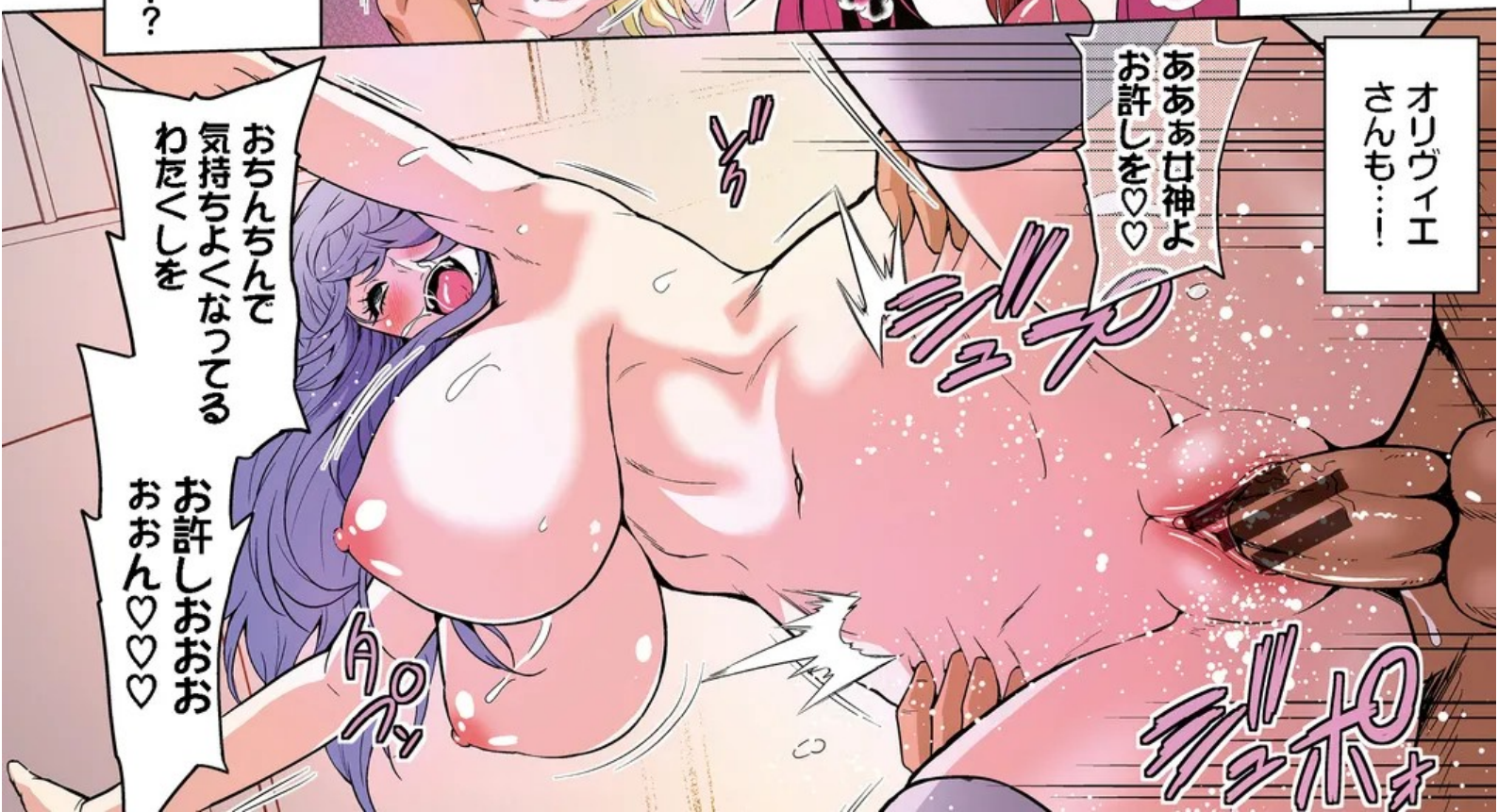
聖女になると
決めたその日から

私……私は……

回……









なんでこんな
苦しいことされて
喜んでるの…!?

こんな苦しい…

あれ?

あえ?

あ?

あ?

苦しくない……

どうだ!?

あ!?

チョボ

ポン

ポン

ポン

ム

ポン

ポン

はあ

アッ

さっきまで
あんなに
痛かったのに…

はあ



違う…?
何これ?

気持ちいい?

ム
ム
ン
ン



なんで…私
初めてなのに…

感じてる…!?

……また
誰かが喘いでる…
気持ちいい…

はあ

ん?

ポン



この声
私だ

私が
出してるの？

こんな
いやらしい声を
私が？



どうしたっ
そんなエロい
声出して！

気持ちいいか？
ああ？

ああああ
なんでえ！

初めてなのに
なんでなんでえ
なんでええ♡♡





今度こそ、勇者を
再誕させられそう
ですね…！

おお…
すばらしい！
高濃度の魔力値を
観測しましたよ

ティーン
いいぞ
コイツラ
よっしゃ
次は俺の番だ！
へへ



ほおお

どわん

ひあ

ええ



あひ

ロ

ええ
今度こそ…！